

ようこそ 教育長室へ

教育長 高木 秀人

前回、前々回に引き続き、9月定例市議会のご報告をするとともに、「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」、「学校運営支援事業」に係る情報をお伝えします。

1. 一般質問での主な質疑(その2)

○小学校の英語学習に対する評価【石原みさ子議員(創生市川・自民党第1)】

(議 員)本市の小学校英語学習に対する評価を教育委員会としてどのように捉えているのか。

(学校教育部長)外国語科の目標である、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成していると考えているが、小学校へのALTの派遣回数が少ない現状もあり、より良い英語学習の在り方について研究する。

○フリースクールの利用に対する助成【とくたけ純平議員(れいわ・無所属・共生の会)】

(議 員)フリースクールという居場所を尊重して、経済的な負担を軽減させる取組が必要。フリースクールの利用に対する助成制度を市長部局との調整や協議の議題に上げてほしい。

(教育長)フリースクールであっても、子供たちがしっかり学習できる環境が必要。学校の認可、学校法人の認可があれば、県から私学助成が入り、経済的負担も軽減。そちらが本当に子供たちにとっての学習環境として適切な状況だと認識。

○教育委員会の独善的な組織体制【越川雅史議員(無会派)】

(議 員)放課後子ども教室運営業務に関し、決算審査特別委員会では「たまたま見落としがあった」と強弁し続け、今の答弁でも、総務部長は「不適正」と認めているのに、所管部は「調査中」と逃げる。市川市教育委員会はこれほどまでに独善的な組織に変わってしまったのか。

(教育長)総務部長からもあった通り、不適正な事務処理が行われた蓋然性が高い。今後このようなことがないよう、田中市長の下、組織体制の在り方も含め、十分気を付ける。

2. 「地域とともにある学校づくり推進フォーラム 2025 千葉」の資料・動画の HP 掲載

残念ながら、8月2日(土)に予定されていた標記フォーラムは、台風の接近に伴い中止になりました。今回、HP 上に資料掲載と、講演と分科会の動画配信がされました。

第1分科会の2つ目に、所沢市立松井小学校の市川重彦前校長(現川口市立鳩ヶ谷中学校長)が発表されています。旧知の市川校長は、「社会教育士」の称号を持ち、そのコーディネート能力を発揮して、学校運営協議会や地域学校協働活動を推進されています。この動画では、非常にまじめに説明されており、市川校長の“面白み”が発揮されていません。機会があれば、是非、“生”の市川校長を見ていただきたいです。

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/torikumi/cs-torikumi/r7forum.html>

3. 「全国コミュニティ・スクール研究大会 in 仙台」、
「地域とともにある学校づくり推進フォーラム 2025 仙台」

11月8日(土)に、仙台市において、標記大会・フォーラムが開催されます。例年、上半期は導入編、下半期は応用編なので、市川市では、下半期の方が参加する意義があるかも知れません。会場参加と WEB 視聴がありますのでご検討ください。

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/2025/09/2025sendai.html>

4. 学校運営支援事業について

今年度から、1校当たり30万円を政策的経費として配当した標記事業ですが、一部で「使い勝手が悪い」旨のご指摘がありました。そのため、今年度の未執行額について、弾力的な運用により、最大限活用する手続きを進めていきます。

なお、令和8年度は、更に「使い勝手」が良くなるように検討を進めています。